



## 小栗栖だより

No.2

## 令和5年度 第48回 入学式



4月7日（金）に第48回入学式を挙行し、62名の新入生を迎え、202名が揃いました。校門の小栗栖桜は散り始めましたが、左側の御衣黄（ぎよいこう）桜が満開で、新入生を迎えてくれました。式の中で新入生に送ったメッセージの一部を紹介します。

## &lt;入学式式辞より抜粋&gt;



この小栗栖中学校では総合的な学習の時間のことをこのように呼んでいます。『共創』です。これは「多くの人と協働し、新たな自分を創造する」という思いで名付けました。自分一人でできることもありますが、色々な人の意見を聞き、協力し合いながらお互いに成長してもらいたいのです。そのためにはぜひとも皆さんに意識してもらいたい大事なキーワードがあります。それは『慮』です。熟語としては配慮、考慮、思慮深いなどに使われますが、この漢字一字で「おもんぱかる」と読みます。意味は「周囲の状況などをよくよく考える。思いをめぐらす」です。

自分のことはよくわかっていますが、他の人はどう思っているだろう？こんな言い方をすると嫌な思いをさせるかな？とちょっと相手の気持ちを考えられる人になって欲しいのです。小栗栖中学校生徒が相手の気持ちを慮ることができたなら、小栗栖中学校はとっても過ごしやすい場所になると思っています。皆さんはこの言葉を知っていますか？『栄桜』。そう「えいおう」と読みます。

これは、令和7年度開校する義務教育学校の名前です。正式には京都市立栄桜小中学校となります。そして、今ここにいる皆さんには、小栗栖中学校に入学し、中学3年生になると9年生として、その栄桜小中学校の最上級生となり、第一期の卒業生となるわけです。望んでもなかなかこういう巡りに当たることはなく、大変貴重な経験をしてもらうこととなります。

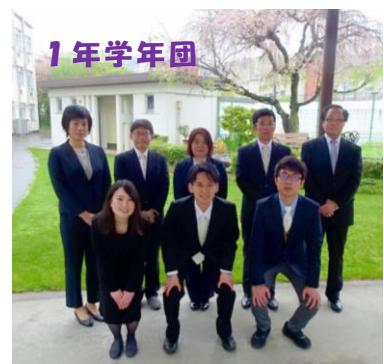
ところで、初めて袖を通す標準服の着心地はいかがですか？まだまだ少し照れ臭いですか？動きにくい感じでしょうか？その標準服は、これまで40年以上続いてきた、7500人以上の卒業生が着てきた小栗栖中学校のものではなく、栄桜小中学校のものです。この三年間、その標準服に守られて学校生活を送るわけですが、この2年間は、2種類の標準服が共存することになります。上級生の中にはうらやましがる生徒もいるかもしれません。先ほど、職員室で紹介したところ「可愛い」という声が教職員から上がっていました。実際に、私もこうして生徒が着用している姿を初めてみましたが、選定に関わったものとして感無量です。皆さんとても似合っていますよ。

ここで、その新しい標準服に対して、皆さんにお願いがあります。

先日終了した野球のWBCで、決勝戦を前に大谷選手がミーティングで「今日だけはあこがれるのをやめましょう」とこれから対戦するアメリカチームの大リーガーの名前を挙げました。そして「憧れてしまっては超えられないで、僕らは今日超えるために、トップになるために来たので。今日一日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけ考えていきましょう」というものでした。もちろんそれだけ憧れられるに値するスターが揃っていたということなのです。

皆さんへのお願いは「是非とも、その新しい標準服を着た姿が憧れられる存在」になって欲しいということです。これから先何十年と、この小栗栖の地の象徴となっていく学校の第一期生という立場で、後輩たち、とくに今の6年生、5年生が「自分も着てみたい」と思う着こなしをしてもらいたいのです。

小栗栖中学校の締めくくりと、栄桜小中学校の創設という誰にでも経験することのできないこの貴重な中学校生活を楽しいものとし、新入生の皆さんのが明日からいつも「いそいそ」と登校してくれることを願って式辞といたします。



## 令和5年度 教職員組織

### 【各学年担当】

	1組	2組	3組	4組	学年所属
1年	鯰江 方個 坂瀬慶太郎	品川 竜史	岡橋 沙紀		西脇志津香・洞井 輝昌 井元 晶士・荻窪 誠侑
2年		阿部 泰宏	今井 葉月	吉田 幸平	新庄 泰子・近藤 駿 齋藤 千聖・奥村 希
3年		山根 良介	高橋 孝彰	大道 頌	山田 直樹・齋藤 韶 水谷 和之・森田 静奈 牧野さやか

### 【主な職務担当と職員組織】

校長	今津 敏一						
教頭	山本 力也						
教務主任	洞井 輝昌						
学年主任	1年	西脇志津香	2年	新庄 泰子	3年		
学年副主任		洞井 輝昌		吉田 幸平			
研究主任	吉田 幸平						
生徒指導部長	阿部 泰宏						
進路指導主事	井元 晶士						
補導主任	大道 頌						
総合育成養育主任	鯰江 方個						
養護担当	工藤 恵莉						
学校運営主査	村岡 真湖						
管理用務員	熊本 淳一						
総合育成支援員	坂元 美奈						
スクールカウンセラー	渡部みもえ						
通級指導	原口 妙						
図書支援員	花岡 陽子						
校務支援員	松原こず恵		白石理恵子				
部活動指導員	坂元 美奈		中村 優斗				

### 「就学援助」及び「総合育成支援教育就学奨励費」制度のお知らせ

京都市では、お子さんが市立小・中学校へ就学するにあたり、経済的な理由によりお困りの保護者に対し、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。

※ 新1年生で入学前に申込みをされた方は、再度申し込む必要はありません。

※ 新型コロナウィルス感染症の影響等により家計が急変する等、経済的な理由でお困りの場合は、収入状況の悪化がわかるものをご提出いただくこと等により認定できる場合がある臨時措置を設けています。まずは、学校にご相談ください。

また、育成学級に在籍しているお子さんのご家庭や、普通学級に在籍し、総合支援学校に通う程度の障害があるお子さんのご家庭に対し、学用品費等の一部を補助する総合育成支援教育就学奨励費制度も設けています。

申込みの手続きやご相談・ご質問がある方は学校までお申し出ください。